

防災だより



福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町82 (0776) 36-7631

★第37号★

令和7年12月12日

＊学校と御家庭で協力しながら防災の取組をしていくために、年に3回「防災だより」を発行します。今回は、地震想定避難訓練とその事前事後学習についてお伝えします。

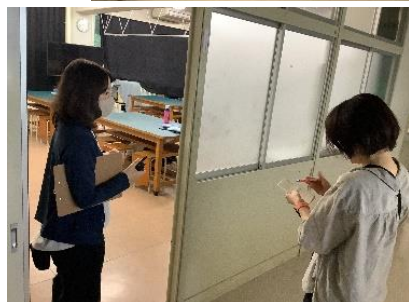
地震想定避難訓練

10月16日(木)に、地震を想定した避難訓練を行いました。今回は、実際の災害に近い状況を想定し、本震の後に余震が数回続くという設定で実施しました。

事前学習では、地震時に身を守る方法として「シェイクアウト」や「サルのポーズ」「だんごおしのポーズ」などについて、イラストや動画を見ながら学習し、練習しました。その成果もあり、訓練では、緊急地震速報が流れると、児童生徒たちは落ち着いて机の下にもぐり、安全を確保する行動をとることができていました。一方で、余震が続くことで不安が強くなる児童生徒や、同じ姿勢を続けることが難しい児童生徒もいました。その際には、安心できる声掛けや、安心グッズの活用など、一人ひとりに合わせた支援を行いました。

また、今回の訓練では、余震が続く状況の中で、児童生徒の安否確認やその報告を、教職員間でどう連携して進めるか、ということも大切なテーマでした。余震で確認作業が中断される場面もありましたが、トランシーバーやチャット、電話など、その場の状況に応じた連絡手段を使い分けながら、連携して安否確認を進めました。

今回の訓練は、余震を想定した実践的な訓練で、実際の災害を想定して対応を考える貴重な機会となりました。今後も児童生徒一人ひとりの安全を守るために、学校全体で防災の取り組みを進めていきたいと思います。



高等部の防災の授業から...

事前学習で...

「防災」の学習で、簡易トイレの組み立てや非常食の試食体験の他に、災害時に自宅から避難する際の持ち出し袋について学びました。教師がイラストを示しながら、「何を持っていくとよいですか」と尋ねたところ、2人の生徒が手を上げました。Aさんは「ペット」、Bさんは「ぬいぐるみ」と答えました。災害時には食料品、水、簡易トイレ医療品など必要なものを持ち出すことが最優先だということを伝えつつも、自分が安心できる物を持っていきたいという気持ちも支援者は大切にすべきということを考えさせられた場面でした。



避難訓練で...

高等部の木工班の避難から...

緊急地震速報が鳴り、すぐに全員が机の下に隠れました。その際、生徒の1人が窓際は窓ガラスの破片が落ちる可能性があると感じ、窓際の机の下に隠れた生徒に、破片が落ちる可能性の低い流し台の下に隠れるよう伝えました。周囲の危険性を把握して安全確保を行う事前学習を行った成果が発揮された避難訓練でした。

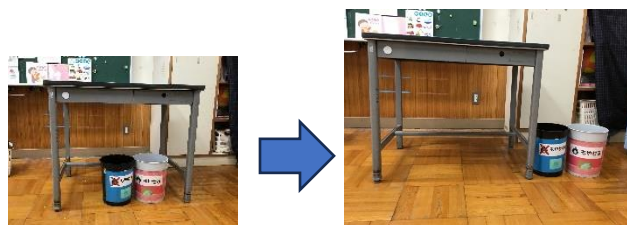
それぞれの 備え



事後学習で...

小学部 訓練後の日常場面で...

緊急地震速報が鳴ったとき、自分の机でシェイクアウトをする子もいれば、教師と一緒に教卓の下でシェイクアウトをする子もいます。これまでは教卓の下にごみ箱を置いていましたが、災害に備えシェイクアウトの場所を確保するため、クラスでごみ箱を教卓の横に置くことに決めました。その後、ごみ箱が教卓の下に置かれていると子どもたちが気づき、「ここは〇〇さんが地震のときに入りますから。」と言ってごみ箱を横に置いてくれるようになりました。「災害に備える」ことを子どもたち自身が実践しています。



～学校HPはこちらから～

<http://www.fukuiminami-sh.ed.jp>

HPの「危機管理」の中にも「防災だより」を掲載していますので、ぜひご覧ください。